

第15回 新都市社会技術セミナー 開催報告

H30.10.10

- 平成30年10月10日(水)13:00～18:00に、新都市社会技術融合創造研究会は研究成果の広報を目的としたセミナーを、大阪マーチャンダイズ・マート(大阪市中央区大手前)で開催しました。
- このセミナーは社会資本の整備、維持管理に関わる技術の普及を目的として設置した「新都市社会技術融合創造研究会(委員長:大西有三京都大学名誉教授)」の下、平成15年に第1回を開催して今回で15回目を迎えます。
- 産・学・官各分野から多数の聴講者の中、平成29年度に実施したプロジェクト12件(下表参照)について、各プロジェクトリーダー※より研究成果が紹介されました。
(※講演2はプロジェクトメンバーによる発表)



産学官あわせて約140名が聴講されました

～講演プログラム～

- 開会挨拶 大西 有三 委員長(京都大学 名誉教授)
- 講演1 海岸近接部において耐候性鋼材(無塗装仕様)を使用する橋梁の環境計測技術に関する研究
講演者 橋本 国太郎(神戸大学大学院 工学研究科 准教授)
- 講演2 道路通行規制区間の解除のあり方に関する研究
講演者 鏡原 聖史(株式会社ダイヤコンサルタント)
- 講演3 ETC2.0プローブ情報の利活用の提案と効果分析に関する研究
講演者 今井 龍一(東京都市大学 工学部 都市工学科 准教授)
- 講演4 道路ネットワークの整備がもたらす広範なストック効果の計量化手法に関する研究
講演者 多々納 裕一(京都大学防災研究所 総合防災部門 教授)
- 講演5 道路事業における3次元データの利活用に関する研究
講演者 中村 健二(大阪経済大学 情報社会学部 教授)
- 講演6 3次元データ活用に関する研究
講演者 小林 泰三(立命館大学 理工学部 都市システム工学科 教授)
- 講演7 橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術標準の策定
講演者 奈良 敬(大阪大学 名誉教授)
- 講演8 鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究
講演者 坂野 昌弘(関西大学 環境都市工学部 教授)
- 講演9 道路資産管理高度化のためのデータベース構築に関する研究
講演者 松島 格也(京都大学大学院 工学研究科 准教授)
- 講演10 橋梁補修施策プロファイリング手法の開発
講演者 貝戸 清之(大阪大学大学院 工学研究科 准教授)
- 講演11 ICRT技術を活用した高精度かつ効率的な斜面・法面点検技術の開発
講演者 西山 哲(岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授)
- 講演12 移動体通信データを活用した行動推定に基づく観光交通対策の優先順位最適化
講演者 山田 忠史(京都大学経営管理大学院 教授)
- 閉会挨拶 小林 潔司 副委員長(京都大学経営管理大学院 教授)

◆大西委員長開会挨拶(概要)

今年の夏以降、関西地方は地震や台風が連続するなど、災害に数多く見舞われました。その結果、関西空港の連絡橋に船が衝突し通行止めとなるなど予想もしなかった大きな事故が起りましたが、国交省を中心とした皆様の対応は素晴らしく、迅速な復旧が行われたことは多くの報道にも出ていました。

これらは技術的な裏付けを普段から準備して、不測の事態に対応する体勢が徐々に整いつつあるからであり、その一端を担っているのが、このセミナーでの研究成果を応用したものであります。

本日の発表はそれぞれ先端的な研究を含んでいますが、研究内容に対する質問やあるいは合同で取り組みたい提案などありましたら是非ご提示いただければと思います。

◆小林副委員長閉会挨拶(概要)

産学官のプラットフォームを使って研究を進める取り組みは近畿地整だけであり、非常に素晴らしいことと思っています。しかも15年も継続していますが、これらの研究はいわゆる大学の研究とは違い、実際の実務に直結したソリューション型の研究でなければなりません。ついては大学の先生方はアカデミズムの中に埋もれず、外にある現実の問題に飛び込んでいく姿勢が新しい研究のテーマを作り出すためにも非常に重要になってきます。そのためには研究に参加されている行政、民間の方からも研究内容に対して積極的に疑問や指摘を出していただきたいと思います。また産学官の取り組みは、研究の内容を専門家だけでなく一般の市民まで理解できるように裾野を持っていくものでもあるため、そのような活性化を是非やっていただきたいと考えています。



大西委員長 開会挨拶



小林副委員長 閉会挨拶

- 産80名、学16名、官36名、計132名の方々が聴講されました。(うち46名がCPDS学習プログラムを申請)
- 聴講者にアンケートを実施した結果、「実務に活かせる知識を得られた」「道路事業以外への応用」といった意見の他、「質疑応答の追加」や「開催時間の短縮」といった要望を多数いただきましたので、発表件数や時間配分の見直しを検討していきたく思います。
- 今後も引き続き産学官連携による取り組みとして、プロジェクトの活動を支援していくとともに、より社会に貢献できる研究を協同して進めていきます。

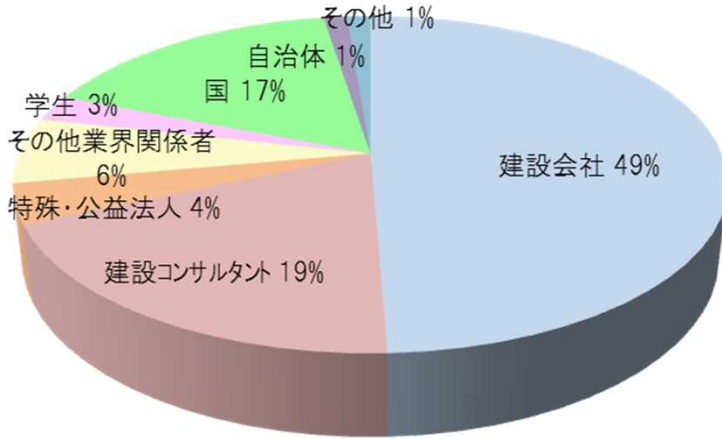
※講演資料は新都市社会技術融合創造研究会HPで公開
<http://www.kkr.mlit.go.jp/road/shintoshikenkyukai/>

【問い合わせ先】

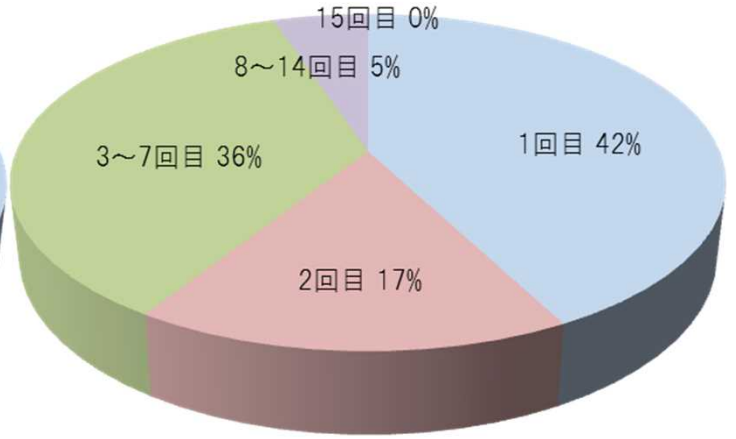
国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所
〒573-0166
大阪府枚方市山田池北町11-1
TEL:072-856-1941 FAX:072-868-5613



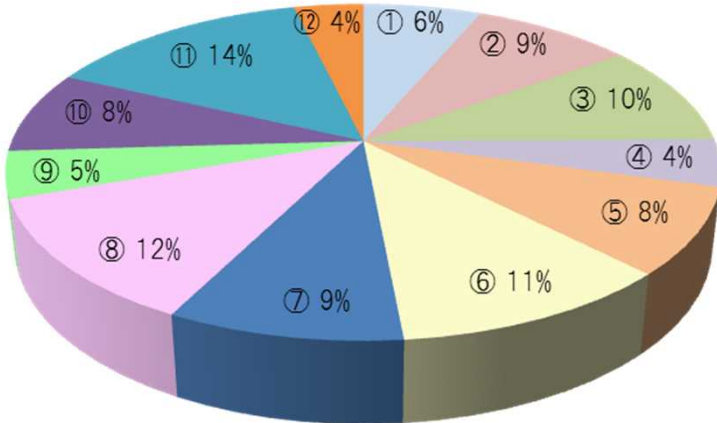
<1. 聴講者の所属>



<2. セミナーへの参加回数>



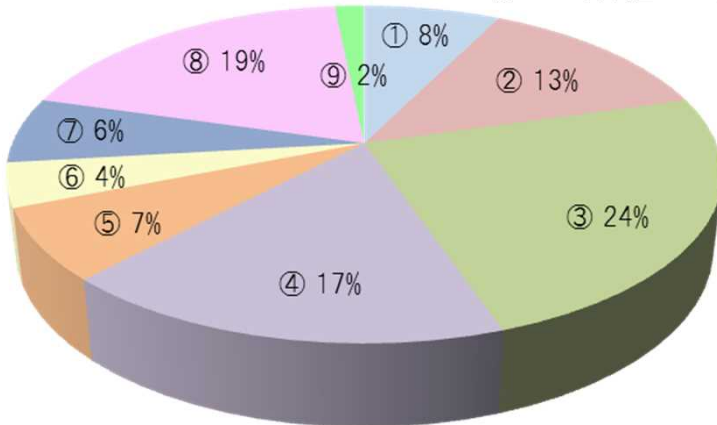
<3. 興味があったプロジェクト>



凡例

- ① 海岸近接部において耐候性鋼材(無塗装仕様)を使用する橋梁の環境計測技術に関する研究
- ② 事前道路通行規制区間の解除のあり方に関する研究
- ③ ETC2.0プローブ情報の利活用の提案と効果分析に関する研究
- ④ 道路ネットワークの整備がもたらす広範なストック効果の計量化手法に関する研究
- ⑤ 道路事業における3次元データの利活用に関する研究
- ⑥ 3次元データ活用に関する研究
- ⑦ 橋梁の耐久性向上に資する排水構造と排水設備に関する技術標準の策定
- ⑧ 鋼床版の疲労耐久性向上に関する研究
- ⑨ 道路資産管理高度化のためのデータベース構築に関する研究
- ⑩ 橋梁補修施策プロファイリング手法の開発
- ⑪ ICRT技術を活用した高精度かつ効率的な斜面・法面点検技術の開発
- ⑫ 移動体通信データを活用した行動推定に基づく観光交通対策の優先順位最適化

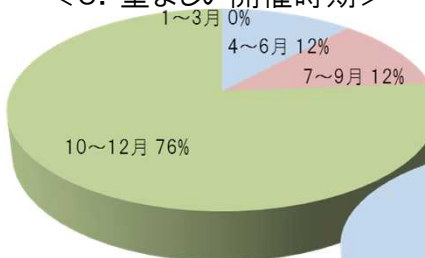
<4. 新たに取り組んでもらいたい研究テーマ>



凡例

- ① 舗装に関する研究テーマ
- ② 橋梁に関する研究テーマ
- ③ 維持管理に関する研究テーマ
- ④ 新技術・施工法に関する研究テーマ
- ⑤ 環境やリサイクルに関する研究テーマ
- ⑥ まちづくりに関する研究テーマ
- ⑦ アセットマネジメント
- ⑧ 防災に関する研究テーマ
- ⑨ その他

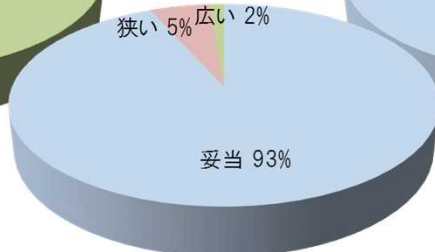
<5. 望ましい開催時期>



<7. プロジェクト発表時間(20分間)>



<6. 会場規模>



<8. 資料配付手段>

